

福祉の



第212号

令和7年3月1日

〒501-6063
岐阜県羽島郡笠松町長池408-1
TEL (058)387-5332
FAX (058)387-5134
E-mail : kasafuku@ccn5.aitai.ne.jp
<https://userweb.alles.or.jp/kasafuku/>

かさまつ社協

編集・発行 / 社会福祉法人笠松町社会福祉協議会



善光寺
サロン



無動寺
サロン

～ふれあい・いきいきサロン～
各サロン楽しい催しで賑わいました♪



金池
サロン



きたきた
サロン

Pick
up!

行事日より
笠松町心身障害者小規模授産所 閉所のお知らせ など
福祉メッセージ作品発表

P 2～3
P 4
P 7

行事だより



毎年のお楽しみ！サロン歳末助成事業を行いました！

12月に町内の各サロンでクリスマス会などが行われました。

サロンではフルートの演奏会や子どもたちの音楽発表会など様々な催しが開かれ、交流を楽しめました。

また、本会職員もサンタクロースに扮し、入浴剤をプレゼントしました。

サロンの参加者からは「ケーキをサロンで食べられることが嬉しい」「音楽を聴くことができ楽しかった」などの感想がありました。

町民の皆さんからいただいた歳末たすけあい募金の配分金でサロンへの助成を行っており、6つのサロンにご利用いただきました。募金にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。



きたおよびサロン



かさほサロン

80世帯にクリスマスケーキをお渡ししました！

～歳末たすけあい配分金事業～

皆さんからご協力いただきました「歳末たすけあい募金」を活用し、希望する就学援助世帯の80世帯にクリスマスケーキをお渡しすることができました。

ケーキを受け取られた方からは、たくさんの嬉しい声が届きました。

皆さんの温かいご寄付、昨年に引き続きクリスマスケーキを作っていたいただいたパティスリー小菊さん(八幡町)、ありがとうございました。

<ケーキを受け取られた方からの感想>

クリスマスケーキありがとうございました。
今年は、クリスマスプラクンをいただきました。とてもおいしく私も子供も笑顔になりました。クリーム、チョコ、いちご...全部おいしかったです。ごちそうさまでした😊



人を思いやるきっかけづくり ～キャラバン事業を行いました～

12月12日(木)笠松中学校で福祉キャラバン事業を開催しました。義足の絵本作家 後藤政幸さんにお越しいただき、自身の生い立ちや、絵本をつくらうと思った出来事などについてお話いただきました。

後藤さんから生徒たちに「中学生は自分の芯を作るとき。努力し続ければ夢は叶う。何事も楽しみながら過ごしてほしい」とエールをいただきました。

後藤さんの講演を聴いた生徒からは「周りの人とお互い支え合いながら今後も生活していきたい」などの感想がありました。



生徒たちに語りかける後藤さん

「ボッチャ」の魅力に触れる！ ～ボランティアグループKind活動報告～

※Kindはふくし体験教室を修了した小学生から社会人までのメンバーで構成されているボランティアグループです

1月11日(土)に、メンバー9人が集まり、岐阜県障害者スポーツ協会の前田さんから「ボッチャ」を教えていただきました。ボッチャは、ジャックボールと呼ばれる目標球に自分のボールをどれだけ近づけられるかを競う競技です。説明を聞いた後、メンバーも実際に体験してみると、思うように進まないボールや戦略通りにいかない難しさに苦戦。試合ではチームごとに作戦を立てながら頭脳戦が繰り広げられ、とても盛り上がっていました。参加者からは、「車いすですると立ってやるのとでは、ボールのコントロールのしやすさや、投げやすさが全然違った」「ボッチャは体に障がいがある方も健常者の方も楽しめるスポーツだと思った。もっと広まったらいいなと思った」などの感想があり、障がいやパラリンピックへの理解を深める機会となりました。



狙いを定めて！

見えない世界を体験！ ～ふくし体験教室 第6回 開催～

※ふくし体験教室は、小学5年生から中学生を対象に、7月～3月(全8回)の期間にさまざまな「福祉」について学ぶ教室です

2月1日(土)福祉健康センターでふくし体験教室を開催し、「見えない世界はどんな色？～点字の学習・視覚障がいの体験～」をテーマに、視覚障がいや点字について学びました。目が見えないことについて職員から説明した後、視覚障がい者が使用する白杖やお手伝いをするガイドヘルプの体験を行いました。その後、町内に住む視覚障がい者の栗本政子さんをゲストにお招きし、普段の生活やマッサージの仕事、趣味の編み物などについてお話しいただいたり、栗本さんが普段使っている点字タイプライターや触って分かる腕時計などの便利な道具を見せていただきました。参加者からは、「自分が本当に目が見えなくなるとすごく不安な気持ちでいっぱいになりました。視覚障がい者の方がいたら必ず声をかけたいし、ガイドヘルプの大変さを知ることができました」などの感想がありました。



安全に歩行できるよう誘導します

頭と身体を動かして元気な笠松町に！！

1月28日(火)令和6年度「介護予防リーダー養成講座」の修了式を行いました。

今回は7人の方が修了し、平成30年度から実施しているこの講座は53人の方が修了されました。

講座では、音楽に合わせたストレッチ体操、運動と認知課題(脳の体操)を同時に行うコグニサイズ、運動をする際に気をつけることなどを学びました。

また、これまでの修了者の方が無動寺で自主的に行っている「体操の場でん」へ行き、実際の介護予防リーダーの活動について学びました。

今後は、健康づくり、地域づくりのために、介護予防活動を行っていただきます。



「でんでん」で参加者と一緒に体操

ボランティア情報

笠松町ボランティアセンター
☎387-5332 FAX 387-5134
長池408-1福祉健康センター内
8:30~17:15 (土・日・祝祭日は休み)

聴くことから始めよう! ~傾聴ボランティアフォローアップ講座の開催~

12月5日(木)笠松中央交流センターで傾聴ボランティアフォローアップ講座を開催し、産業カウンセラーの丸山悟氏をお招きし、上手な聴き方について学びました。本会の傾聴ボランティア養成講座の修了者、ちょっとした見守りやお手伝いなどご近所同士の助け合い活動を行っている小さな手助け笠松のサポーターの16人が参加しました。

施設や個人宅など対面でお話を聞く「傾聴活動」は今までも行われていましたが、新型コロナウイルスの影響で高齢者施設への訪問など活動ができなくなる一方、町内での傾聴ニーズは高まっており、再度、傾聴活動の活性化を目的に開催しました。

参加された方からは「また傾聴活動をやってみたい」「聴き上手になりたい」などの感想がありました。参加されたみなさんの今後のボランティア活動が楽しみです。



表情や目線を意識しながら「傾聴」

ありがとうございます



使用済み切手の収集活動にご協力いただき、ありがとうございます。

12月7日~2月5日(敬称略・順不同)
浅野 昭子 リバーサイド笠松園
シルバー人材センター 匿名10件

使用済み切手の収集について

使用済み切手の収集にご協力をお願いします。ご協力いただいた使用済み切手は、換金し災害ボランティアセンターの備品の購入などに役立てます。詳しくは本センターまでご連絡ください。

切手の周囲を消印が残るよう5mm残して切り取ってください



ないす♡ はあ〜と

笠松町心身障害者小規模授産所

☎387-2469 長池237

メール kasaju@ccn5.aitai.ne.jp

HP https://peraichi.com/landing_pages/view/ksj2012

授産所閉所のお知らせ~33年間ありがとうございました~

平成4年4月1日に開所しました笠松町心身障害者小規模授産所を令和7年3月31日をもって閉所することとなりました。

授産所では、作業以外にも日常生活に必要なスキルを身に付ける調理実習や電車やバスを利用した社会見学、音楽療法やトールペイントなどの楽しい思い出をたくさん作ることができました。

また、ボランティアさんにはいつも温かく見守っていただき、「ないす♡はあ〜との会」では多くの地域の皆さんと交流することができました。

開所以来、温かいご支援・様々なご協力を賜りましたこと深く感謝申し上げます。



アルミ缶回収の終了について

3月25日(火)に最後のアルミ缶整理を行います。25日以降は授産所でのアルミ缶回収は行いませんので、地域での回収等へお出ください。

アルミ缶の回収にご協力いただいた皆さん、誠にありがとうございました。

情報の森

いろいろな情報の木が生えた、かさまつ社協事業の森へようこそ。
かさまつ町民の“エンジョイ”を応援してくれる情報をピックアップし、
ご紹介し、気になる木が、きっとあるはず。新鮮な驚きや発見に出会
えるトクする情報満載です。あなたも参加しませんか？



災害×障がい 誰ひとり取り残さない地域へ

～障がい理解のための講演会の開催～

大規模な自然災害が発生した際、特に障がいのある方や高齢者などは自力での避難や、みんなも大変だからこそ、より「助けて！」と声をあげることができず、ひとり取り残されたまま困難に直面している場合が多くあります。

講演会では、令和6年能登半島地震の被災地支援をとおして、障がいのある方を中心に配慮が必要な方が置かれている状況や当事者の想いを知り、自分たちのまちで災害が起きた時、災害からいのちと暮らしを守るために何ができるのか一緒に考えます。

日時：3月8日(土) 午後1時30分～午後3時15分

会場：笠松中央交流センター 3階 大ホール

内容：講話「災害×障がい 誰ひとり取り残さない地域へ

～令和6年能登半島地震 被災地支援をとおして～

講師：NPO法人静岡市障害者協会 相談員 松山 文紀 氏

特別ゲスト：社会福祉法人 すず椿(障害福祉サービス事業所 石川県珠洲市)から発災後の施設の状況などについてオンラインでお話いただきます



参加費：無料

対象：町内に在住・在勤の18歳以上の方

定員：100人

申込：本会までお電話または右の申込フォームからお申し込みください



<申込フォーム>



思い出のランドセルギフト

今年も卒業式の季節が近づいてきました。そこで、小学校を卒業される方や使われなくなったランドセルをお持ちの方は、ランドセルの寄付をお願いします。送料として2,500円もしくは、書き損じはがき58枚(85円はがきの場合)が必要となります。寄付いただいたランドセルは「公益財団法人ジョイセフ」を通じて海外(アフガニスタン)へ届けられ、子どもたちが学校へ通うきっかけとなり、教育を受け自分や家族の健康を守る知識や情報を学ぶことができます。皆様のご協力をお願いいたします。

詳細は、公益財団法人ジョイセフのホームページをご覧ください。

(https://www.joicfp.or.jp/jpn/donate/support/omoi_de_ransel/)

問合先 笠松町社会福祉協議会 ☎387-5332



ホームページ 写真提供：国際協力NGOジョイセフ



義援金募集のお知らせ

岐阜県共同募金会笠松町分会では、災害義援金を受付しております。ご協力いただける方は、本会(長池408-1 福祉健康センター内)へお願いいたします。お寄せいただいた義援金は、各県において県、日本赤十字社、共同募金会等で構成する義援金配分委員会において配分が決定され、市町村を通じて被災者に全額配分されます。(2月5日現在)

<受付期間：令和7年3月31日まで>

令和6年能登豪雨災害義援金

令和6年能登半島地震災害義援金(富山県)

令和6年7月山形県大雨災害義援金

<受付期間：令和7年12月26日まで>

令和6年能登半島地震災害義援金(石川県)

令和6年能登半島地震災害義援金(新潟県)

*義援金箱設置場所：パティスリー小菊・ソワユ・笠松天領の駅・ごはん居酒屋いろなん・福祉健康センター

地域包括支援センターだより

笠松町地域包括支援センター ☎388-7133 FAX 387-5134 長池408-1福祉健康センター内

認知症に優しいまちを目指して、私にできること・やりたいことを話し合いました！

1月27日(月)笠松中央交流センターで、認知症ステップアップ講座に参加された認知症サポーターの更なる学びの場を設け、11人が参加しました。

認知症の方やその家族が安心して暮らし続けることができるまちにしていくため、自分は何ができるのか、自分の好きなことを振り返りつつ、“これなら認知症の方と一緒にやれるかもしれない！”ということに参加者同士で話し合いました。

「簡単な料理を一緒につくり食いたい」「予定を忘れても私が声かけをして予定を忘れないようにしたい」など、新たな可能性が広がる機会となりました。

今後も認知症の方が安心して、楽しいと感じられる機会が増えていくよう、ご本人や認知症サポーターなどと話し合い、支え合い活動を進めていきます。



私にできることを共有！

ふれあいひろば、ふれあい喫茶開催しています！

ふれあいひろば 参加費 100円

ふれあいひろばは、脳を活性化させるゲームや体操、懐かしい歌などの音楽を取り入れたレクリエーションで認知症予防を行っています。

4月からは開催回数を変更します。 事前登録制のため、参加をご希望の方は、本センターまでご連絡ください。



ふれあいひろば 変更点

令和7年3月まで

- ①第1金曜日 福祉健康センター
- ②第3金曜日 福祉健康センター
- ③第4木曜日 福祉会館

令和7年4月から

- ①第1金曜日 福祉健康センター
今まで第3金曜日に参加されていた方も第1金曜日の参加となります。
- ③第4木曜日 笠松中央交流センター(6月まで)
福祉会館(7月から)

ふれあい喫茶 参加費 100円

ふれあい喫茶は、レクリエーションを楽しみながら、素敵なひと時を過ごす集いの場です。地域のボランティアさんたちと協力しながら開催しています。なお、ふれあい喫茶(笠松)は、会場の福祉会館が改修工事のため、4月からしばらく中止します。再開についてはまたお知らせします。ふれあい喫茶(松枝、下羽栗)については変わらず開催していきます。申し込みは不要です。ぜひご参加ください。

開催日	会場	福祉会館(笠松)	福祉健康センター(松枝)	総合交流センター(下羽栗)
3月		14日(金)	11日(火)	10日(月)
		ぬりえ	中北薬品による乳がん予防の話とリンパマッサージ	マジックショーと落語
4月	会場の都合により中止		8日(火)	14日(月)
			春のゲーム大会	高齢者詐欺被害などの寸劇
時間		午前10時15分～11時15分		

認知症介護者のサロン 参加費無料

日時：3月11日(火)・4月8日(火) 午前9時30分～11時30分 会場：福祉健康センター

認知症介護者のサロンは「認知症の人と家族の会」の方を交え、現在認知症の方を介護している方、過去に認知症の方の介護を経験した方、これから介護する可能性のある方などが参加しています。日々の介護で困っていることなどの情報交換をしています。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

福祉メッセージ 大賞・優秀賞・佳作作品発表 赤い羽根共同募金配分事業

受賞された皆さんおめでとうございます。今年度も「福祉」への想いを100字に込めた「福祉メッセージ」に、町内の小・中学生より622点の作品が寄せられました。どの作品もすばらしく、優劣がつけがたいのですが、福祉メッセージ審査会にて作品を選考し、表彰しました。

大賞・優秀賞・佳作に入賞された皆さんの氏名・作品をご紹介します。(原文のまま・敬称略)

小学生・高学年の部

大賞

『電車でにんぷを助けたよ。』

笠松小学校4年 小池 京楓

私が、名古屋にいくとき電車にのりました。そのときににんぷマークをもった女性にあったので、きんちょうしたけど声をかけて「せきどうぞ」というと「ありがとう」といわれてうれしかったです。これから人も助けていきたいです。

優秀賞

『幸せな毎日の日々を』

松枝小学校5年 藤谷 琳

みなさん毎日幸せな日々を送っていますか？私達は、みなさんが元気でいたらみんなが笑顔になります。だからつらいことがあったら一人で抱えこまずみんなに話してください。みんなは、あなたの味方です。だいじょうぶ

優秀賞

『見かけたら』

下羽栗小学校4年 津川 桜耶

出かけたりすると、よく高齢者や、しょうがい者を見かけます。助けたい、とゆう気持ちがあるけれど、どうしても助ける勇気がなかった。でも福祉を知ったらとても勇気ができました。これからは、助けてあげたいです。

佳作

『近所のおばあさん』

笠松小学校6年 川合 侑愛

夏休みのラジオたいそうの時、いつも近じよのおばあちゃんが、ラジオたいそうがおわったあとに「がんばったね」や「次もがんばろう」と声をかけてくれて、私は、おばあちゃんからやさしさが伝わって、うれしかったです。

佳作

『ふれあいへの感謝』

松枝小学校6年 北岡 ちな

ふだんの当たり前前だけ当たり前前じゃない安心を見守ってるふれあいたいさん。毎日登下校で私達の安全を守ってくれてありがとうございます。朝や下校時、暑かったりすると思うけど、私達の安全を見守ってください。

佳作

『いつもごめんね』

下羽栗小学校6年 高野 隼汰

いつもお母さんに反抗してるのは分かってるけどなぜか反抗してしまうよ。ごめんね。でもこんな僕だけど、最後まで見守って下さい。お母さんいつもごめんね。あといつもありがとう。態度にはしてないけど本当は思ってます。

中学生の部

大賞

『私の母』

笠松中学校3年 古澤 綾子

私の母は毎日、働いている。その姿はとてもカッコいい。家では誰よりも動いて、それに一番私のことを知っている。そんな母のことが大好きだ。そして感謝している。長生きしてね。いつもありがとう。

優秀賞

『普段の感謝を込めて』

笠松中学校3年 服部 茉胡

当たり前に通っている学校でゴミ処理とワゴンを毎日運んでくださる方がいます。今までは何も言えない私。今思えばその方がいるおかげで安心して過ごせると気づきました。いつもありがとうございますと伝えたいです。

優秀賞

『福祉の仕事』

笠松中学校3年 小山 華凜

老人ホームに職場体験に行った時、職員さんの優しさと思いやりに心が温かくなった。介護士の仕事はとても大変だ。しかし、大変な中でも笑顔を絶やさず、明るく人に寄りそう姿が素敵だと感じた。

佳作

『ペースメーカー』

笠松中学校2年 林 美咲

私のおじいちゃんはペースメーカーを使っています。でんしレンジの近くにはいけない、IHを使っちゃいけない、電気自動車は乗れないなど長生きしてもらうために家族で協力し合って一緒に勉強している所です。

佳作

『唯一の人』

笠松中学校3年 森 陽介

僕は一時期、係の仕事で思い悩んでいた事がありました。誰に何を頼れば分からないときに、一人の友達の手を差し出してくれました。「いつでも話聞くでな」この一言のおかげで、友達の大切さを知れました。

佳作

『お母さんありがとう!』

笠松中学校3年 今井 夕陽

夏休みの間、ほぼ毎日塾がありました。嫌になることも多かったです。でも、あるものでやり切ることができました。それは「お母さんの弁当」です。弁当のおいしさとあたたかさで頑張れました。お母さんありがとう!

